



問 学校教育について

答 質の高い教育を提供し、魅力ある学校づくりを進めていく

令和6年度に町立小学校が統合し、小中一貫教育が実施される。教育環境の変革期を迎えようとしているが。

問 児童・生徒数の現状は。

教育次長 東小175名、西小138名、中学校171名、合計484名です。

問 教育を担う教職員の現状は。

教育次長 東小18名、西小15名、中学校23名です。このほか、町雇用の会計年度任用職員や外国語指導員が勤務しています。不足は生じておりません。

問 国の情報教育推進によるオンライン授業のメリット・デメリットは。

教育次長 メリットは、コロナ感染による出席停止や不登校に対応した学習が可能になったこと、オンラインによる工場見学や外部講師の講座が実施できるようになったことなどです。デメリットは、通信環境の影響で授業が中断する可能性があること、視力の低下、目の疲れ、適切な利用方法を実施しないと思考力・想像力の低下につながる可能性があることなどです。

問 これから受験期を迎えようとしています。進学の推進について。

教育次長 中学校における令和3年度の進学率は98%で、茨城県立7名、埼玉県立31名、私立14名でした。キャリア教育として職業観・勤労観にも触れながら、どのように生きるのかを考える指導を行っています。

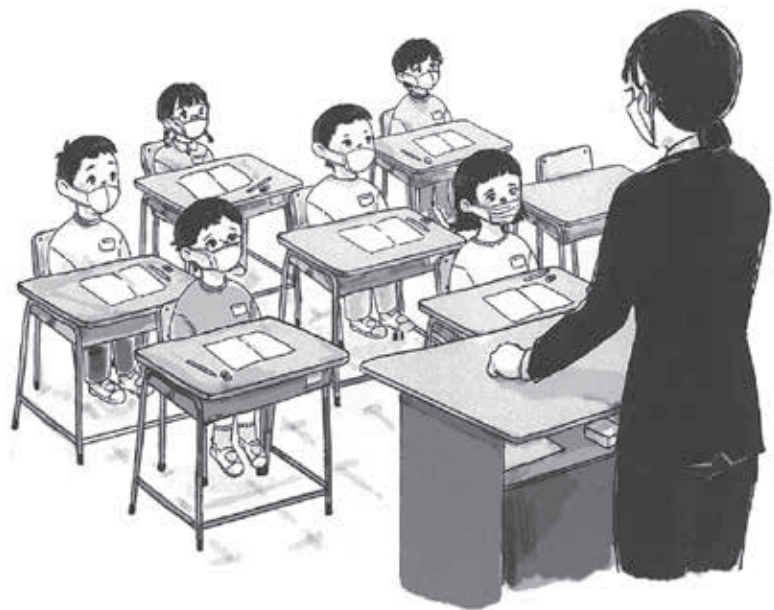
問 小中一貫校の開校について。

教育長 令和6年度の小学校統合に向けて準備を進めています。統合と同時に小中一貫教育をスタートさせる予定です。義務教育9年間を連続

した教育課程とし、小・中の相互乗り入れ指導や異学年交流等さまざまな工夫をした取組が可能となります。

問 部活動の推進について。

教育長 中学校では、人数が集まらず休部になることがあり、好きなことを思い切り経験させたい思いですが、現実的に苦しい選択を迫られているところです。小中一貫教育では、小学校高学年の部活動交流などで活性化につながるよう検討していきます。



イラスト提供:伊藤議員